

【凡例】

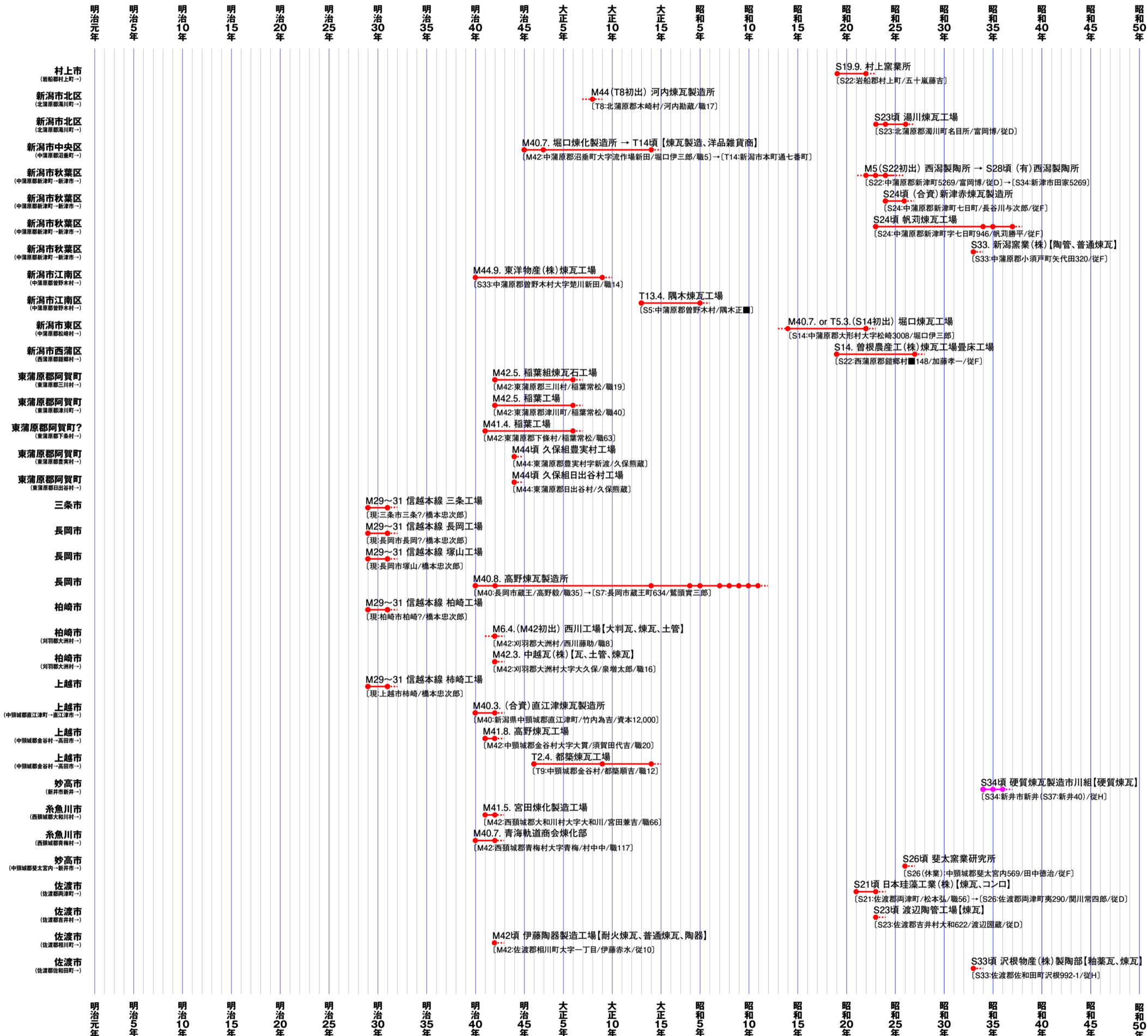
- 刻印印影(右上英字は確度)
 A: 確実 (社名・番号で印刷抽出、文献等の裏付けあり)
 B: ほぼ確実 (社名・番号で印刷抽出)
 C: 推定 (印刷分布や共済状況などから推定)
 D: 仮定 (情報源により訂正される可能性あり)

同じ所在地で所有社・社名の変更があった場合「→」で列記

●は文献で操業が確認できた年度を示す
 赤は普通・化粧煉瓦、オレンジは耐火・耐酸煉瓦類、桃はその他。破線は操業状況が不明or別業で操業

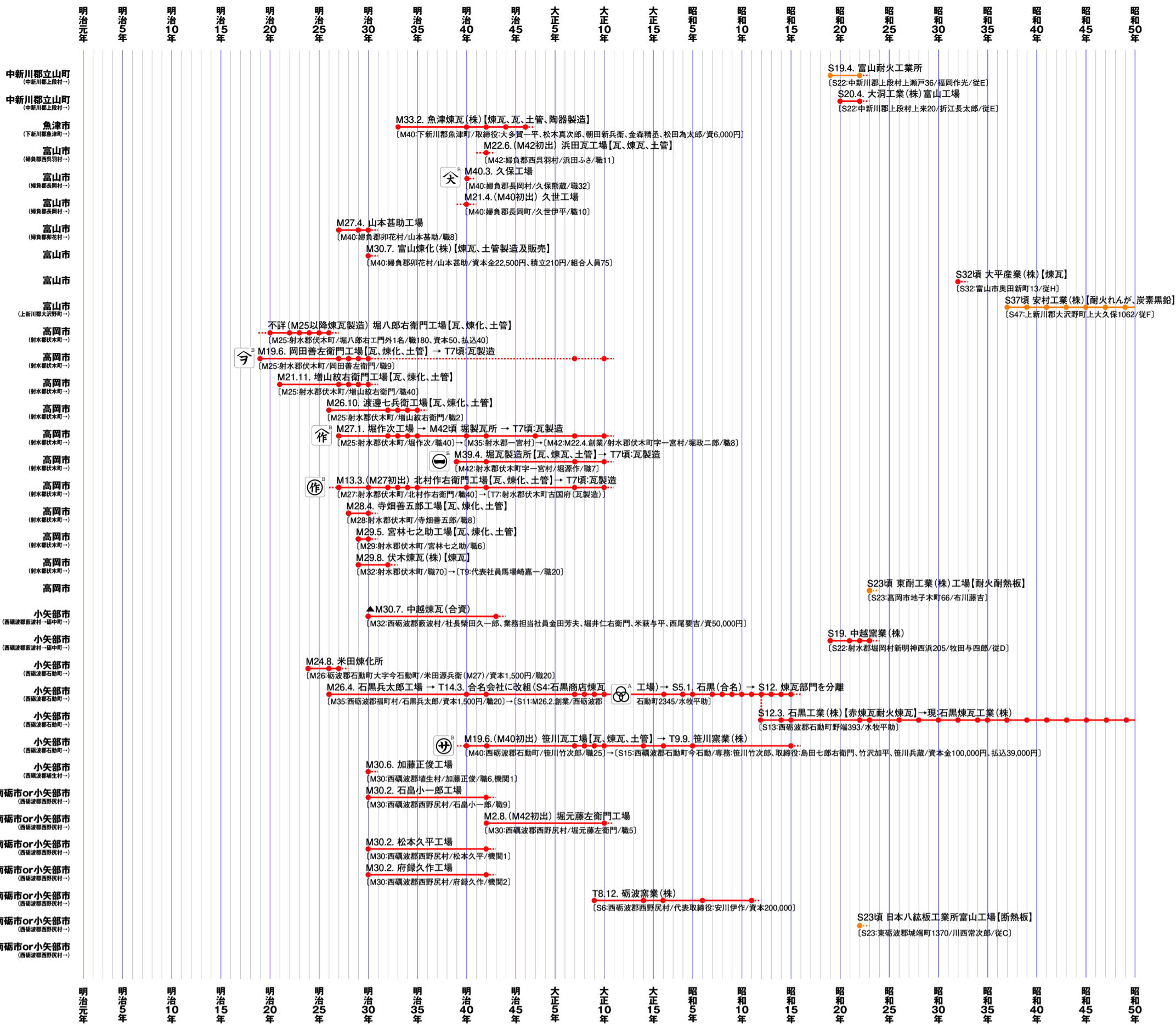
時点: 所在地(旧市町村名)/社長・代表者/工場規模

※創業年は資料によって異なる。信憑性の高いものを恣意的に採用した。
 ※会社名×は設立だけで実稼働しなかったと思われる会社(職工数の登録がないなど)。▲は販売会社。
 ※刻印印影は2019年2月現在における推定。データの蓄積により訂正される可能性あり。更新版は
<http://bdb.kyudou.org/documents/factorylists/>にて配布。



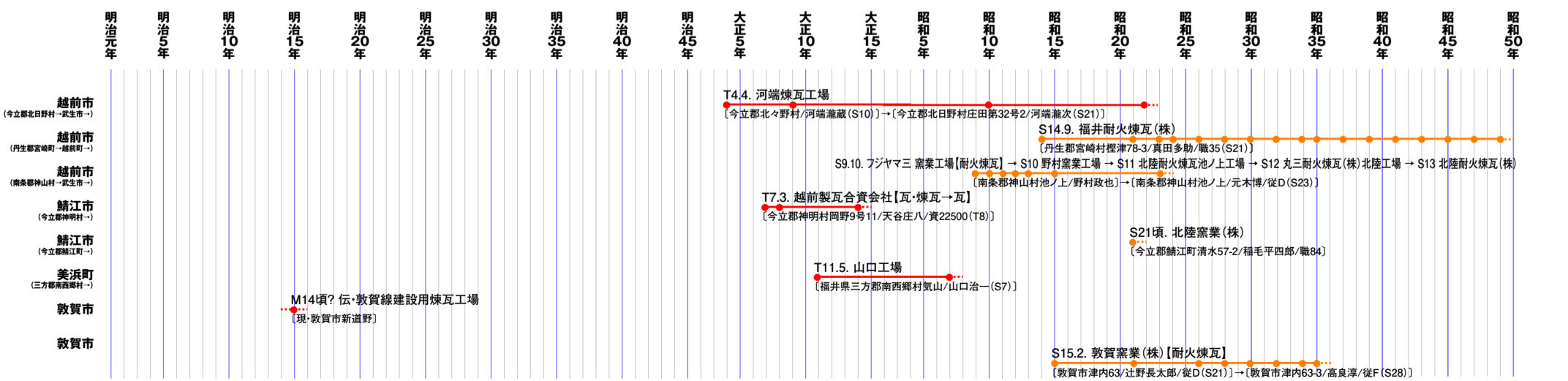
新潟県下煉瓦工場の消長

【データ出典】工場通覧(明治40、42、大正9、10、昭和4、7、9、10、11、12、13、14、15、16、22、24、25、27、29、31、33、35、37、39)、商工興信録北海道・奥羽地方(大正1)、窯業銘鑑(大正14)、全国工場鉱山事業場名簿(昭和22)、日本工業要鑑(第2、3、6版)、小野田滋『鉄道と煉瓦』



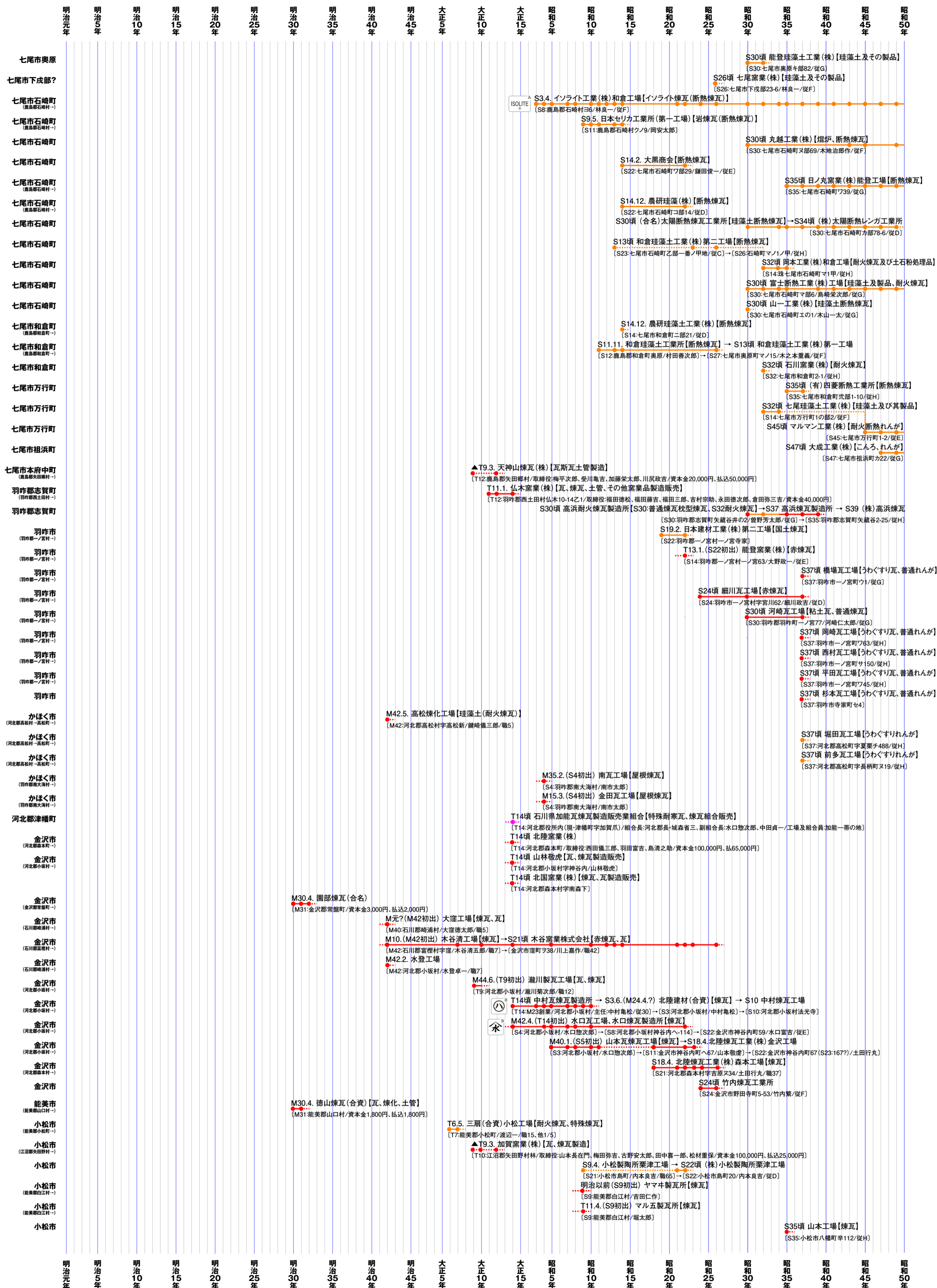
【データ出典】富山県統計書(明治23、24、25、26、27、28、29、30、32)、工場通覧(明治35、40、42、大正8、9、10、昭和4、7、9、10、11、12、13、14、15、16、22、24、25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47、49、51、53)、大日本商工録(大正7-8、11、14、昭和3、6、18)、全国工場鑑(山事業場名簿(昭和22)、日本工業要鑑(第3、4、5、6、26、27版))

富山県下煉瓦工場の消長



【データ出典】敦賀市立博物館『敦賀長浜鉄道物語』、工場通覧(明治35、40、42、大正8、10、昭和4、7、9、10、11、12、13、14、15、16、22、24、25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47、49、51)、大日本商工録第1輯(大正7-8)、窯業鑑(大正13年)、全国工場鑑(山事業場名簿(昭和22)、日本工業要鑑(第10、12、14、16、27版))

福井県下煉瓦工場の消長



石川県下煉瓦工場の消長(2)